

# 新小岩北口商店街とまちづくりのかかわり方 (昔・今・未来)





出典：かつしか電子マップより作成



出典：東京聖栄大学

## 昭和29（1954）年 **新小岩北口商店会 設立**

加入店数：70店

主な業種：

洋傘販売、茶小売、飲食業、喫茶、果実商、写真材料、紳士用品、包装業、和洋菓子、特浴、靴、書店、スーパー、スナック、自転車預かり業、そばや、時計商、不動産業、バー、薬化粧品、理容、たばこ小売、焼肉、コンビニエンス、百貨商、文具販売店、書店業、ゲーム場、食品製造販売、製パン、美容室、写真、レンタルビデオ、カバン、せんべい小売、パチンコ、通信機器

新小岩北口商店街の様子



出典：35周年記念商業名鑑【東京都葛飾区商店街連合会】

➤ 専門店が集積し、新小岩の人々の生活を支えてきた

こんなこともあった！

### 新小岩北口での主な出来事

- ✓ 昭和31（1956）年2月3日に北口駅前の近くに米軍機が墜落し爆発炎上（新小岩駅前米軍機墜落事故）。
- ✓ ボーリング場が複数あった（現西井堀第四自転車駐車付近に大同ボーリング）。
- ✓ 中土手にモトクロスコースがあり、日曜日は賑わっていたが、首都高の工事でなくなった。





休憩や待ち合わせなどに利用されている北口広場



停車しているタクシーが少ない東北広場



モンチッチの銅像ができた北口広場



朝の時間帯は特に通行量が多い大学通り



歩行空間の狭い平和橋通り



朝の時間帯は通行量が多いスカイデッキつつみ



全線開通した南北自由通路



お祭りは賑わっているが、担い手が不足している



清掃活動など東京聖栄大学と連携した取組み (出典：東京聖栄大学HP)



撮影：2018.4.3

ヒューマンスケールの商店街の継続



出典：ストリートデザインガイドライン

歩きやすい商店街の構築  
(車両通行止め等)



出典：ストリートデザインガイドライン

荷捌き車両と共存したまちの形成



出典：ワテラス HP

東京聖栄大学や学生と連携した商店街



出典：UID HP

緑豊かな環境問題解決に寄与した商店街



出典：熊の前ヨガフェス

新小岩公園や私学事業団総合運動場などと連携したウェルネスな商店街



テーマ1

わたしと新小岩北口商店街

まちづくりにかかわってきた新小岩北口商店街に対する

テーマ2

良い点と改善点について

テーマ3

将来像について

- 明治27 (1894) 年 総武線 開通
- 昭和3 (1928) 年 新小岩駅 (南口のみ) 開業
- 昭和19 (1944) 年 新小岩駅北口 開業
- 昭和22 (1947) 年 オリムピア洋裁学院 (現東京聖栄大学) 開校
- 昭和29 (1954) 年 新小岩北口商店会 設立
- 昭和31 (1956) 年 新小岩駅南口駅前広場 完成
- 昭和32 (1957) 年 新小岩ルミエール商店街 誕生
- 昭和34 (1959) 年 新小岩ルミエール商店街 アーケード設置 (区内初)
- 昭和37 (1962) 年 新小岩駅立体交差 開通
- 昭和40 (1965) 年 新小岩が地名となる
- 昭和41 (1966) 年 新小岩銀座商店街振興組合 設立
- 昭和43 (1968) 年 新小岩ドリームウェイ商店会振興組合 設立
- 昭和47 (1972) 年 総武快速線 運行開始
- 昭和60 (1985) 年 新小岩公園 開園
- 平成23 (2011) 年 新小岩駅東北広場とスカイデッキつつみ 完成
- 平成27 (2015) 年 葛飾区内で最も乗車数の多い駅となる
- 平成30 (2018) 年 新小岩駅南北自由通路 暫定開通
- 令和2 (2020) 年 新小岩駅北口駅前広場 完成
- 令和4 (2022) 年 新小岩駅南口地区市街地再開発組合 発足
- 令和5 (2023) 年 新小岩駅南北自由通路 全線開通

新小岩駅の  
開業から95年

開業当時の新小岩駅 (南口)



出典：葛飾区 HP

現在の新小岩駅南口



将来の新小岩駅南口



出典：葛飾区 HP

✓ **新小岩駅が開業するまでは、ほとんどが湿地帯だった**

奥戸の民俗誌によると

——現在の新小岩1丁目2丁目あたりは、駅が開業する以前は家の全くない湿地であった。田にも畑にもならぬような土地でタヌキやキツネがうろうろしていたという。

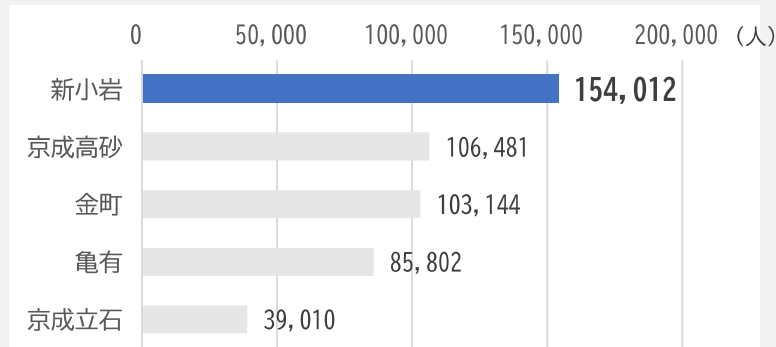
明治42（1909）年



出典：国土地理院より作成

約100年の間に区内トップの交通結節点に

区内主要駅の1日の乗降客数※



※葛飾区統計書2020より作成。なお、JRは降車人員の集計を行っていないため、乗車人員の2倍を平均乗降客数としている。



出典：国土地理院より作成



✓ 新小岩駅開業後、工場の進出等で都市化に拍車がかかる

(奥戸町の人口の推移)



出典：葛飾区史より作成

関東大震災以降、移住者が急増

関口セルロイド加工所誕生

大正期

1918



出典：かつしか絵図風土記より作成

新小岩駅の開設に伴って南口では耕地整理が行われた



出典：葛飾区 HP

北口側に理研鋼材(株)平井工場などの工場が進出

新小岩駅開業

葛飾区誕生

新小岩北口開業

1928

1932

1938

1944

昭和期

大正5 (1916) 年



昭和5 (1930) 年



昭和20 (1945) 年



出典：全て国土地理院より作成

✓ 新小岩駅周辺の整備に合わせて、まちづくりの検討が進んだ



新小岩商店街の様子



新小岩駅立体交差工事竣工



出典：写真全て葛飾区 HP

北口側の工場跡地は新小岩公園に

新小岩北口商店会設立

新小岩が地名となる 平井工場廃止

新小岩北地域まちづくり協議会設立

1954

1962

1965

1973

1985

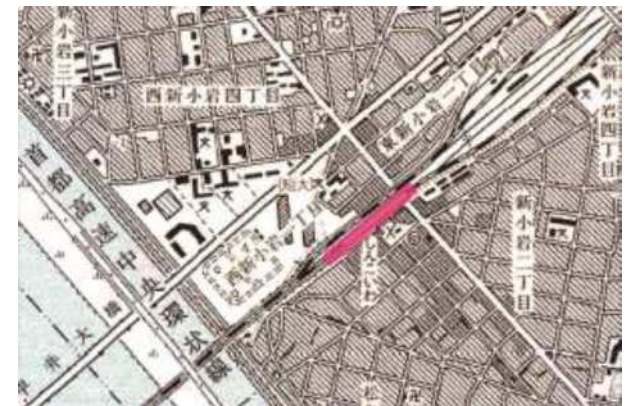
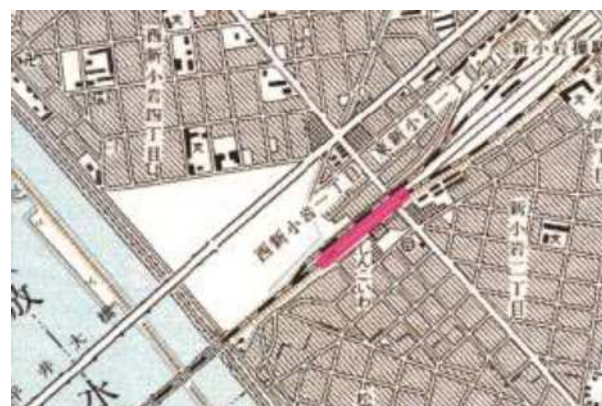
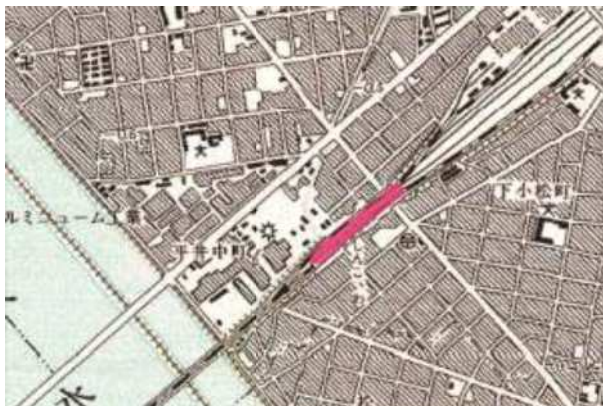
1986

平成期

昭和40（1965）年

昭和51（1976）年

平成5（1993）年



出典：全て国土地理院より作成



✓ 新小岩駅周辺では、現在もまちづくりが進んでいる



にこわ新小岩  
 ・子ども未来プラザ（保育園を含む）、保健センター、児童  
 発達支援事業所、活動室等の機能を備えた複合施設  
 ・令和4年7月開設（外遊部分は令和5年秋完成予定）



南北自由通路  
 ・令和5年3月完成



北口駅前広場  
 ・令和2年度完成

※検討内容は、今後の関係機関協議の結果等を踏まえて、変更となる場合があります。



東南地区地下機械式自転車駐車場  
 ・令和4年9月開設（計408台）



新小岩公園再整備基本計画  
 ・令和3年度策定



東京都種補創型奨励事業

葛飾あらかわ水辺公園再整備事業



南口駅前広場（島地内）  
 ・令和2年度完成



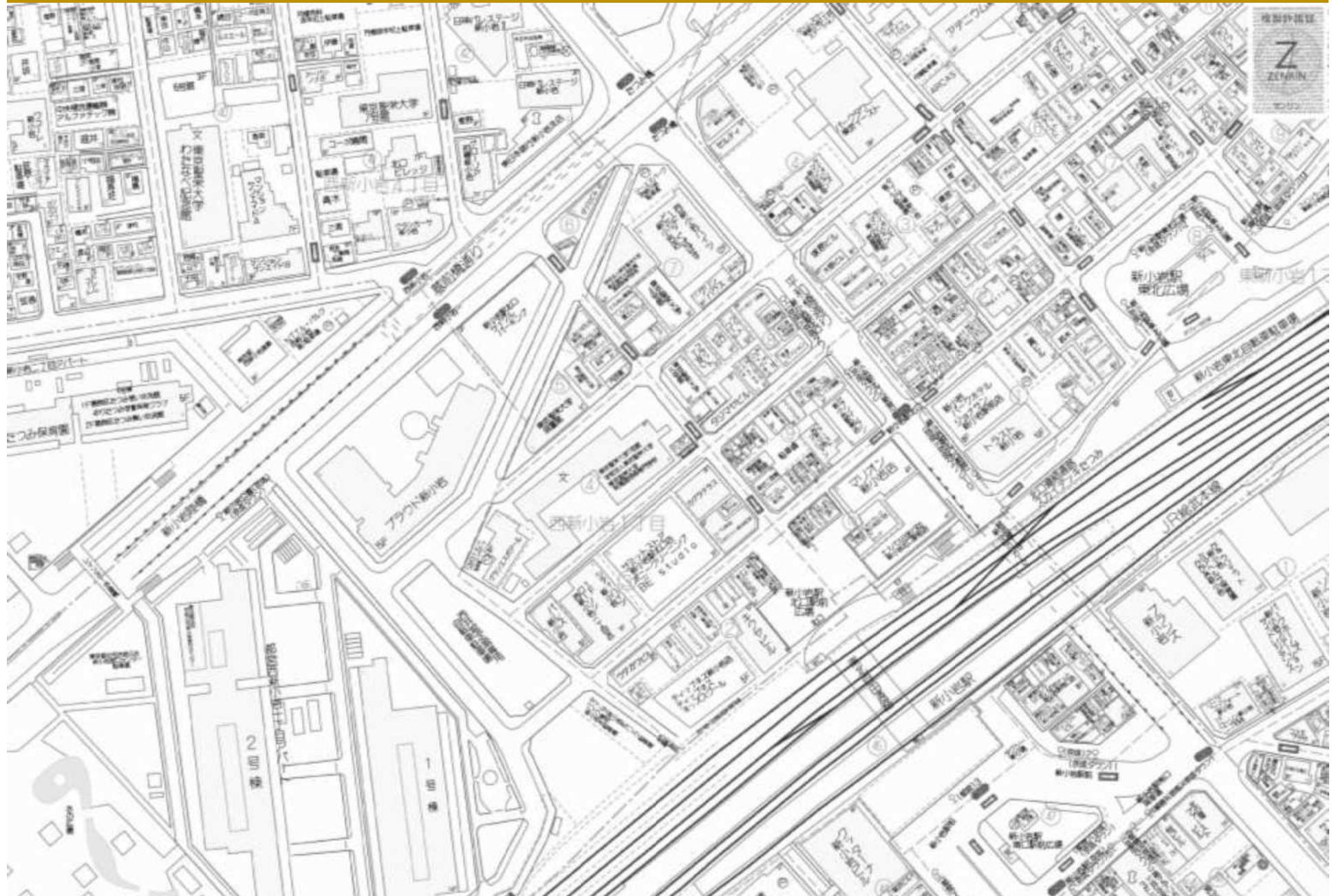
新小岩南口駅前  
 再開発準備組合作成



〔仮称〕新小岩南口駅ビル  
 ・JR東日本が建設、令和5年秋完成予定  
 ・6階建て⇒9階に自転車置き場施設

新小岩南口地区再開発事業  
 ・令和11年度完成予定



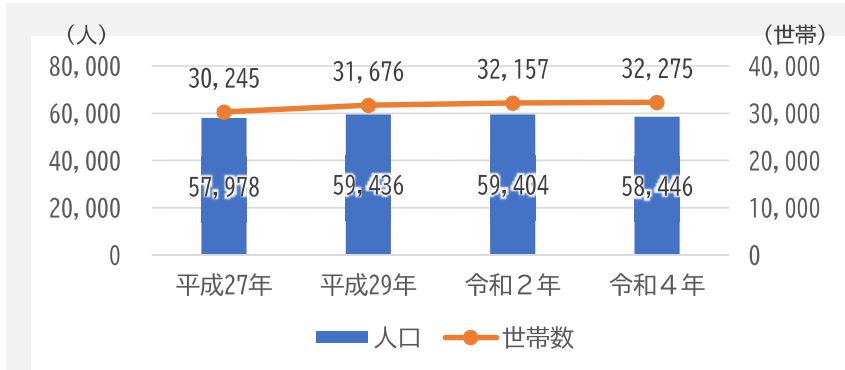




✓ **世帯数は増えているが、人口と商品売上額は減少している**

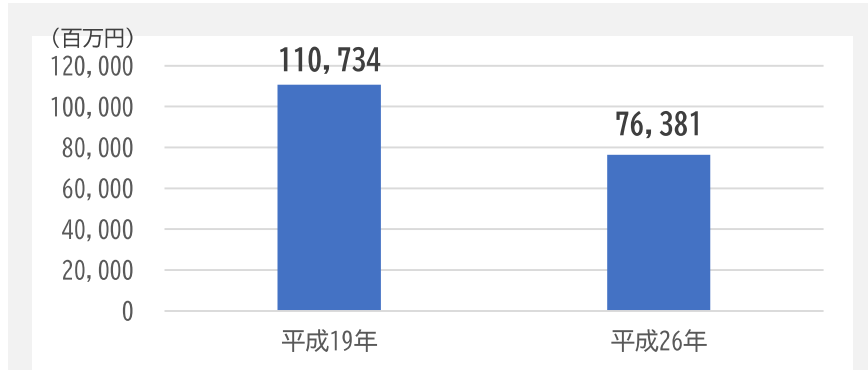
新小岩1～4丁目、西新小岩1～5丁目、東新小岩1～8丁目の合計値

人口・世帯数※



※住民基本台帳（各年4月1日）より作成。

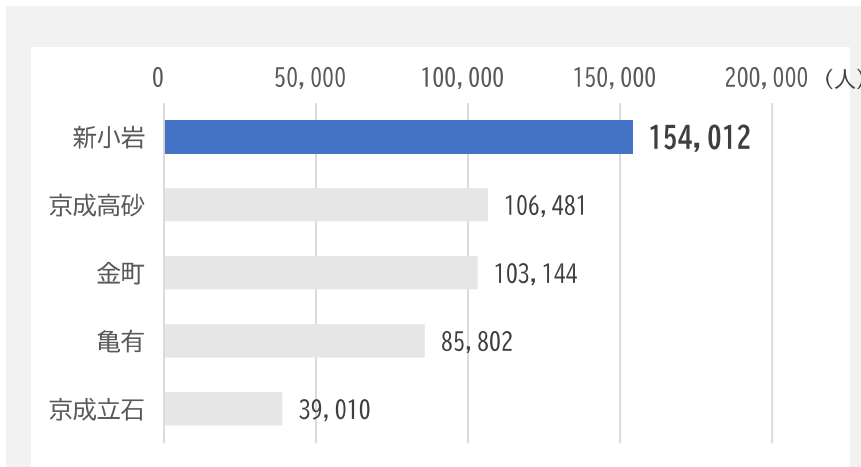
商品売り上げ額※



※商業統計調査報告より作成。

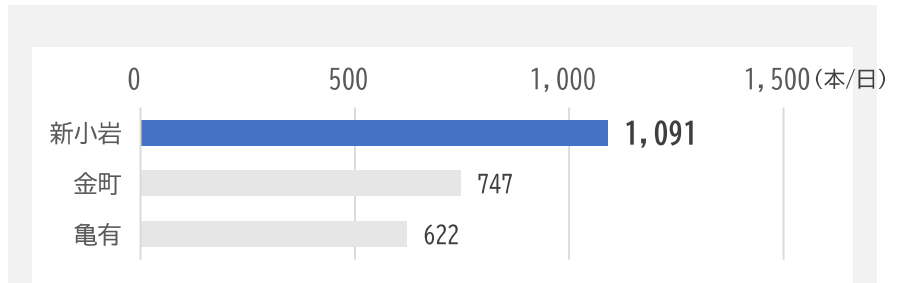
✓ **電車の乗降客数、バスの運行本数が区内で最も多い**

区内主要駅の1日の乗降客数※ (再掲)



※葛飾区統計書2020より作成。なお、JRは降車人員の集計を行っていないため、乗車人員の2倍を平均乗降客数としている。

バスの運行数※



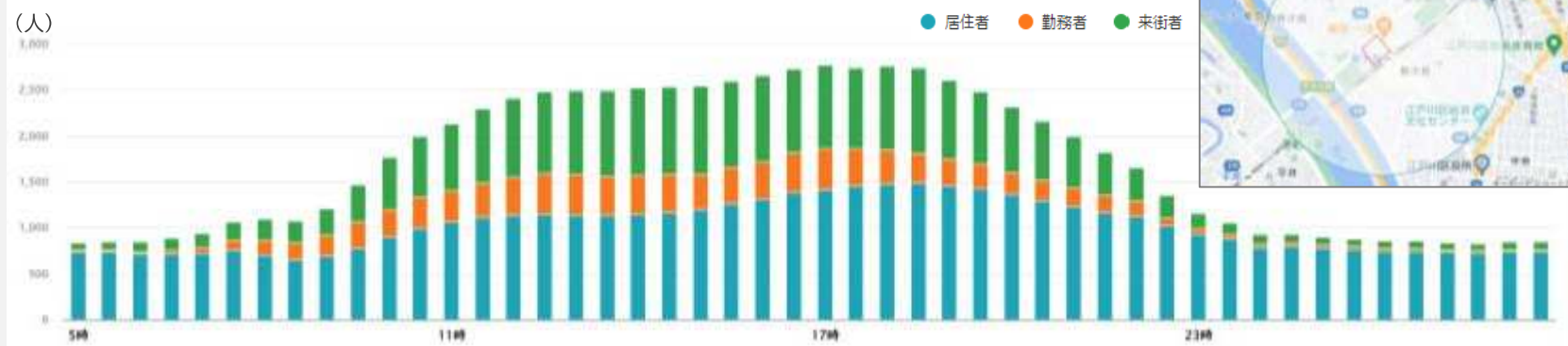
乗り場	運行本数計 (本/日)	合計
新小岩駅北口	473	1,091
新小岩駅南口	490	
新小岩駅東北広場	128	

※各事業者HPの時刻表(2021年10月時点)を基に作成、平日のみ集計。

✓ **居住者の滞在が多く、夕方の時間帯が最も滞在者が多い**

新小岩駅北口地区における「来訪者属性」※

※KDDI Location Analyzerより作成。2021年10月1日～2022年9月30日の平均値／15分以上滞在の場合。



✓ **朝の時間帯での通行が最も多い**

新小岩駅北口地区 大学通りにおける「主要動線分析」※

※KDDI Location Analyzerより作成。2021年10月1日～2022年9月30日の場合。

